

がん患者の緩和医療受療実態とその影響

1. 研究の対象

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会では、全国のがん診療連携拠点病院を中心に、院内がん登録実施施設に Quality Indicator 研究（QI 研究）への参加を呼びかけ、参加の同意の得られた施設から院内がん登録と DPC（Diagnosis-Procedure Combination）と呼ばれる診療データの提供を受けています。がん登録部会で保有するこのデータは国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部で保管されています。本研究では、このデータのうち、2016 年～2021 年に参加施設を受診されたがんの診断を受けた患者さんが対象になりえます。なお、データの利用にあたっては、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会 QI データ活用委員会の審査を受け、利用許可を得て行います。

2. 研究目的・方法

研究目的：QI 研究のデータを用いて、一定の緩和ケア行為が、その後の薬剤使用量や医療資源（診療点数）、骨折等のアウトカムへ与える影響を検討することを目的とすることです。

研究方法：QI 研究のデータを用いて、アウトカムに関連する項目を解析します。

研究実施期間：研究許可日～2028 年 3 月 31 日

本研究は JSPS 科研費（24K20333）の助成を受けて行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

院内がん登録情報と DPC データと呼ばれる診療データを用います。院内がん登録情報には、性別、診断年月、病期、施設名等が含まれています。また DPC データには、鎮痛剤の処方などの診療明細、入院日や退院日などが記されています。

4. 外部への試料・情報の提供

研究に用いるデータは、国立がん研究センターがん対策研究所内において管理し、データの解析はすべて同センター内で行います。他の施設に、個別データの提供はいたしません。また、本研究で収集した情報は、QI 研究のデータ利用の承認を受け、本研究の研究目的と関連性のある「緩和ケアの提供体制の整備及び質の向上に関する研究」に将来的に利用します。

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター	石井 太祐（研究責任者）
国立がん研究センター	榑原 直喜（研究者）
国立がん研究センター	渡邊 ともね（研究者）
国立がん研究センター	桑原 舞（研究者）
東京大学	東 尚弘（アドバイザー）
虎の門病院	櫻井 宏樹（アドバイザー）
防衛医科大学校	川村 崇郎（アドバイザー）
慶応義塾大学	真志田 祐理子（アドバイザー）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理
人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申
出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター がん対策研究所 医療政策部

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

お問い合わせ電話番号 03-3542-2511

研究責任者：国立がん研究センター がん対策研究所 医療政策部 石井太祐

研究事務局担当者：国立がん研究センター がん対策研究所 医療政策部 榑原 直
喜